

社会福祉士及び介護福祉士法の一部改正のポイント〔平成23年4月1日施行〕

・・・平成23年7月23日時点での情報です

- ① 医師の指示の下で行う喀痰吸引等の医行為が、限定的な要件のもとで介護福祉士および介護職員等が行えるようになります。
 - ・喀痰吸引等→厚生労働省令で定める範囲となり、喀痰吸引（口腔内・鼻腔内・気管カニューレ内部）及び経管栄養（胃ろう・腸ろう・経鼻経管栄養）が定められる予定。
 - ・改正法で介護福祉士の業務として医療行為を位置づけている対象となる「介護福祉士」とは、2015年度以降の資格取得者のみ。
 - ・現在の介護福祉士有資格者および介護福祉士資格のない者も、必要な知識及び技能を修得する基本研修（20.5～50時間）および実地研修を終了し、都道府県知事より「認定特定行為業務従事者」の認定を受けることで、同じく実施できる。
 - ・今後定められる要件（医師による指示、記録やなど）に合致し「登録喀痰吸引等事業者」の登録が必要で、事業所ごとに、その所在地を管轄する都道府県知事の登録を受けなければならない。

- ② 介護福祉士の資格取得方法の見直しに係る改正規定の施行期日が、平成24年4月1日から平成27年4月1日に変更することとされました。→3年延期



もしかして？・・・取材商法？

「雑誌（一般には販売されていない）でそちらの施設と代表者様を紹介したいのですが、タレントの〇〇さんと〇万円で対談していただけますか？」という電話が、他県ですが福祉施設あてにかかっているそうです。タレントや俳優が取材に訪れるということで、取材される施設が取材費用を支払うという勧誘です。実際に取材を受けた等の話ではありませんので詳細は不明ですが、内容を十分に吟味するようご注意ください！



ホームページも
ご覧下さい！

<http://www.gunmaken-chiiki.net>

研修予定なども随時ホームページにアップする予定です。県内各地で開催される連協の研修のほとんどは、どのブロックの方でも参加できますので、ぜひご活用下さい。



この会報誌に親しみやすい名前を考えて下さいませんか？採用者には記念品を贈呈いたします。FAXで事務局までお気軽にご応募下さい！締め切り10月1日

募集！

群馬県地域密着型サービス連絡協議会
（認知症高齢者グループホーム・小規模多機能型居宅介護）

事務局 〒370-3521 群馬県高崎市棟高町 954-8
NPO法人じゃんけんぽん事業本部内
TEL 027-387-0180 FAX027-387-0181
ホームページ <http://www.gunmaken-chiiki.net>

・・・ケアの現場のこぼれバナシ

「腹が立った時は・・・お腹という字を紙に書いて、紙を横にしておけばいいのよ！」入居者の方の言葉です。人生の大先輩からは、色々と学ぶことも多く、日々勉強になります（^^）

住み慣れた地域で、その人らしく・・・

群馬県地域密着型サービス連絡協議会

会報

第20号

平成23年8月1日発行

東日本大震災による甚大な被害を受けた被災地の皆様、そして地域密着型サービスのご利用者、ご家族、職員の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

地震発生後、本会会員の皆さまには、大変な状況下においても被災者の方の支援にいち早く対応していただきました事に対して、深い敬意と感謝を申し上げます。

第11回 定期総会開催

平成23年5月23日（月）午後1時～
桐生市文化会館



会長 井上謙一



群馬県地域密着型サービス連絡協議会は「認知症になっても、在宅または住み慣れた地域で最期までその人らしく生き暮らすことを支援するとともに、地域の中の資源として認知症に関する情報発信の場になり“地域づくり”の拠点としての役割を担う」ことを発足以来の理念として掲げ、今日まで地域の中で認知症ケアの先駆者として努力してまいりました。このたびの東日本大震災では、被災地の認知症の方が亡くなり、行方不明にあり、命は助かっても避難所等で大変苦しい生活を余儀なくされています。当会としても今年度の事業は東日本大震災復興支援を軸として、認知症ケアの質的向上と環境改善の対応に一層努力することを目的として、下記の事業を重点項目として実践いたします。

▶平成23年度 事業計画

1. 群馬県に 避難または 移転された認知症の方に対して、県や市町村、医療関係者、NPO 等と連携を図り、可能な限りの支援をする。
2. 被災地の仮設介護ホーム等への派遣要請に積極的に応える。
3. 事業所が存在する地域において、認知症に関する情報の発信源の場になり「地域づくり、まちづくり」の拠点としての役割を担う。
4. 認知症ケアの質の向上を目的に研修の充実を図る。
5. 事業所間の情報ネットワーク化の強化を図る。
6. 全国グループホーム団体連合会への参加と役員派遣。
7. 市町村と事業所の連携、協働推進。
8. ブロック構成員を役員に組み入れ連協全体の強化を図る



総会第二部では被災地支援の報告と表彰、第三部は「介護保険法改正と地域ケアの幕開け」という題材で、長岡福祉協会高齢者総合ケアセンターこぶし園・総合施設長の小山 剛氏にご講演いただきました。

西部ブロック

定例会を開催

6月21日に高崎市総合福祉センターにて西部ブロック定例会を開催し、交換研修のための事業所基本データについての意見交換と、ブロック研修のアンケートを行いました。いただいたご意見をもとに今期の研修を計画してまいります。

普通救急救命講習Ⅰを実施

高崎市総合福祉センターにて、7月8日と14日の2回実施しました。

南部ブロック

ブロック会議及びブロック研修開催

7月13日、みかぼみらい館にて会議と研修を行いました。前半の会議では主に行政への意見やローカルルールについて話し合い、よい情報交換の場になりました。後半は事例のまとめ方についてブロック長が講義。事例の書式・援助過程と援助にあたっての考え方を理解し、今後の事例検討のレベルアップを図る目的での研修となりました。

東部ブロック

普通救急救命講習Ⅰ

8月8日・9日 太田市東部消防署 九合分署

応急手当の重要性、心肺蘇生法、AEDの使用法、異物除去法、止血法も含めた講習で、昨年度も好評でした。

※会報発行時には申し込みが締め切りとなっておりますので、お知らせのみとなります。



昨年の様子↑

中北部ブロック

9月から11月にかけてレベルアップ研修、見学研修を実施予定。他の研修も検討中です。

研修部

新任者1日研修（全県研修）開催

前橋市総合福祉会館にて、7月4日・5日の2日間で80名が参加。終了後のアンケートでは90%以上の方が研修内容が「良かった」「職場で役立つ」「他の職員にも必要」という回答がありました。

研修参加者の感想です

- 特にアクティブリスニングの時には、相手の話を聴く姿勢について考えさせられました。普段お年寄りの方と話をする時、自分はきちんと話を聴く事ができているのか…同じ話を何度も聴いていると、最後まできちんと聴かず口を挟んだり、作業をしながらそっけない聴き方をする事がありました。しかし研修で実践をしてみて、相手が自分の話を聴く態度が悪いととても気分が悪くなったので、お年寄りにも同じことをしていたのかなと思いました。

- 知らない事や身に付けなければならない事が、まだまだたくさんあることを実感しました。

- 学んだことを職場に持ち帰り、より良い人間関係・信頼関係を築き心の通う職場づくりを目ざしたい。

- 違う施設の方とも話をすることができ、その施設の特徴を知ることができました。



部会・ブロック活動予定

研修・小規模多機能運営部

小規模多機能・全県研修

「ライフサポートワーク」

～小規模多機能・グループホームのケアマネジメント～
伊勢崎文化会館・大会議場

8月30日（火） 13:00～16:00

小規模多機能型居宅介護とは何か。

～小規模多機能型居宅介護で支える地域での暮らし～

31日（水） 10:00～16:30

小規模多機能型居宅介護のケアマネジメント

～ライフサポートワークによる生活支援の意義と方法～

（事例を使って、居宅介護サービス計画書とライフサポート）

ライフサポートワーク？

▶一人ひとりの「必要」をマネジメントすることで、目の前の人を支える・・・地域の中でのこれまでの暮らしそのものを支えるために、あらゆる資源を活用し、支援する事が「ライフサポートワーク」です。状態や状況の変化に柔軟に、かつ即応した支援のあり方や考え方が重要になってきます。

研修部



例年どおり基調講演、事例発表を予定しています。学びの多い1日になるよう、たくさんの方の発表、ご参加をお待ちしています。詳細が決まりましたらFAXにてお知らせいたします。

新役員ご紹介

総会で承認を得て今年度より組織変更を行い、役員数も増加しました。2年間、どうぞよろしくお願いします。

会長	井上 謙一	（小規模多機能の家じゃんけんぽん国府）
副会長	恩田 初男	（グループホーム喜楽）
グループホーム運営部長	恩田 初男	〔兼任〕
小規模多機能運営部長	高橋 昭	（ケアサポートセンターようざん）
研修部長	池田 清	（グループホーム吉岡たやの家）
研修副部長	伊藤 慎一	（グループホームおおいど）
〃 〃	中原 真紀	（グループホームやさしい家）
〃 〃	櫻場 一典	（多機能ハウスひなたぼっこ）
事務局長	佐塚 昌史	（グループホームじゃんけんぽん群馬町）
広報担当	松原 徹	（グループホームなごみ）
〃 〃	上野 節子	（グループホームつどい）
財務担当	佐塚 昌史	〔兼任〕
東部ブロック長	川島香瑞美	（つむぎの里グループホーム）
〃 副ブロック長兼研修委員	秋草 康男	（安心館かわうち）
〃 グループホーム運営委員	下城 和隆	（グループホームほたるの里）
〃 小規模多機能運営委員	鬼形阿輝子	（小規模多機能ホームひまわり）
〃 研修委員	扇田 孝行	（グループホームアリス）
西部ブロック長	原 到	（グループホームかがやき入野ホーム）
〃 副ブロック長兼研修委員	菅原 優	（小規模多機能ホーム榛名荘）
〃 グループホーム運営委員	原田 稔	（ケアホーム「家族の家」浜川）
〃 小規模多機能運営委員	青木 鈴子	（小規模多機能ホームルネスふれ愛の家）
〃 研修委員	今井百合子	（グループホームめだか）
南部ブロック長	清水 浩幸	（グループホームさいら）
〃 副ブロック長兼研修委員	櫻場 一典	〔兼任〕
〃 グループホーム運営委員	森田 裕之	（グループホームこころ）
〃 小規模多機能運営委員	多胡 佑毅	（小規模多機能ホームくわのみ）
〃 研修委員	佐藤 慎	（グループホームほほえみ）
中北部ブロック長	三俣 和哉	（グループホームかしわぐら）
〃 副ブロック長兼研修委員	蛭原 桂子	（小規模多機能型居宅介護総社の杜）
〃 グループホーム運営委員	金井 崇	（グループホーム恵の家）
〃 小規模多機能運営委員	杉木 祥八	（介護サポートかしょうの里）
〃 研修委員	田村よしみ	（グループホームゆうゆう・うちだ）
会計監査・監事	平川 二子	（グループホームひらかわ）
〃 〃	橋本美々華	（グループホーム吉井マリル）
相談役	渡邊 高行	（ケアホーム「家族の家」新里）